

2020年 1月 1日

初詣礼拝

11時

司会 石井 潤師

奏楽

祈祷

石井 潤師

賛美 聖歌584番 & ～主を待ち望む者は～

ヤベツの祈り

聖書 詩篇34篇1～10節

特別賛美 西田 美栄子姉

メッセージ 「冒険を楽しもう！」 大川従道牧師

献金 聖歌474番 & ～明日はどんな日か～

祝祷

〔献金当番：渡辺姉・青木姉〕

お知らせ

【司会者】

賛美 ～The Family Song～

礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！  
《今週のお知らせ》

1. 新年明けましておめでとうございます！今年も主の祝福をお祈り致します！
2. 5日の日曜礼拝では、誕生祝福式。午後の予定はありません。昼食なし。
3. 2020年のヴィジョンと祈りのリストにご記入してご提出ください。

《2020年のみことば》

**主の恵みふかきことを味わい知れ**

**主に寄り頼む人はさいわいである**

**詩篇 34 篇 8 節**

## 「2020年 年頭のことば」

主任牧師 大川従道牧師

明けましておめでとうございます！今年は不思議な一年になります。「主の恵みふかきこと」を、くりかえし味わい、成長し、円熟めざして進みましょう。

昨年春、ビル・ジョンソン先生にお会いした時、『世界を変革する力』という師の著書にサインを求めた。すると、しばらく考えた末、私のために祈って下さり、美しい字で「Enjoy the great adventure!!」と書いて下さった。そして、great の下に、アンダーラインをして、詩篇67篇と加筆された。あれから、何度も67篇を読み、大いなる主の恵みを味わってきた。新共同訳では、「神よ、すべての民があなたに感謝をささげますように。すべての民がこぞって、あなたに感謝をささげますように」(4節)とある。



年末の「天声人語」に、まどみちおさんの詩が紹介されていた。〈なんだか 足が軽いと思ったら さっき電車の中で 知らないよその赤ちゃんが 笑いかけたのだった〉かわいらしい笑顔을 忘れないように努めながら、わたしは思わず急ぎ足になる。母のいる家に向かって。

〈父がいなくなった家で ひっそり 待っている母に そのおみやげを はやく見せてあげたくて〉。おみやげは、もちろん赤ちゃんの話。話はここで終わるが、ほほえみながら聞くお母さんの姿が浮かぶ。帰省してくる子どもや孫たちのみやげ話を待っている人が、日本中にいる。

教会とは、礼拝に出席して、天使の笑顔をいただける場所。昨年マタイによる福音書11の28のドイツ語訳で「すべての重荷を負うて苦勞している人は、私のところに来て休むがよい。私はあなたに元氣をあげよう」を深く味わった。笑顔のない人はクリスチャンではない、と言うべきではないが、主を仰ぐことぬきには、輝きを失うだろう。どんな奉仕や捧げもの以上に「エンジェル・スマイル」は、まわりに不思議な恵みを拵けてくれる。日本宣教の課題の第一に挙げてもよいテーマである。そういえば、大久保のインパーテーションは「Angel House・Joy! Joy! Joy!」が、看板である。